

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	甲南女子大学
設置者名	学校法人 甲南女子学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数			省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目			合計
文学部	日本語日本文化学科		4	12	0	16	13	
	英語文化学科				0	16	13	
	多文化コミュニケーション学科				0	16	13	
	メディア表現学科				0	16	13	
国際学部	国際英語学科		4	12	0	16	13	
	多文化コミュニケーション学科			12	0	16	13	
人間科学部	心理学科		4	12	0	16	13	
	総合子ども学科				0	16	13	
	文化社会学科				0	16	13	
	生活環境学科				0	16	13	
看護リハビリテーション学部	看護学科		4	0	14	18	13	
	理学療法学科				18	22	13	
医療栄養学部	医療栄養学科		4	12	0	16	13	

(備考) 2020年4月国際学部開設。文学部英語文化学科、文学部多文化コミュニケーション学科は2020年度以降募集停止。

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学HPから「教育情報の公表」>「授業・シラバス」>「シラバス参照（時間割検索）」で、「実務経験を有する教員が実施する科目」のプルダウンを「該当する」に選択し、「検索開始」を選択する。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	甲南女子大学
設置者名	学校法人 甲南女子学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人 甲南女子学園ホームページ（下記 URL）にて公表しています。
<http://gakuen.konan-wu.ac.jp/message/index.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社神戸ポートピア ホテル代表取締役社長	2019.7.10～ 2022.7.9	理事長
非常勤	シンエーフーズ株式会社 監査役	2018.7.10～ 2021.7.9(※)	副理事長
(備考) 他、非常勤学外理事9名 ※重任予定：任期 2021.7.10～2024.7.9（2021.5.24 理事会承認）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	甲南女子大学
設置者名	学校法人 甲南女子学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本学では各授業科目担当者が、12月末から1月末にかけて翌年度のシラバスを作成し、2月上旬頃からホームページで公開しております。</p> <p>シラバスの入力マニュアルを作成し、各教員(専任教員、非常勤講師問わず)に配付しております。マニュアルには、授業内容(概要)、授業計画、到達目標、成績評価、オフィスアワー、準備学習等(予習・復習)について、シラバスに明記する旨と入力手順を記載しております。</p> <p>また、入力したシラバスについては、授業担当教員ではない第三者の教員が内容をチェックし、適切に記載されているか教員間で相互に確認しております。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>https://www.konan-wu.ac.jp/publication/ (Web ページ内該当項目:授業等に関することについて > 大学の授業の計画、方法、内容等 > 授業・シラバス)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの中に、成績評価について記載しております。授業参加態度、期末試験・期末レポート、小テスト・小レポート等の評価割合を明示し、これらに基づいて学修成果の評価を行い、単位認定しています。</p> <p>また、成績評価の基準については、100点満点で60点以上を合格としています。AA(90点以上)、A(80~89点)、B(70~79点)、C(60~69点)、D(59点以下:不合格)で判定しており(授業を一定回数以上欠席した場合等はF(失格))、全学生に配付している学生要覧等にも記載しております。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学ではGPA制度を導入しており、具体的な算出方法は、以下のとおりです。</p> <p>ポイントを、AA:4、A:3、B:2、C:1、D:0(Fは除く)とし、</p> $\text{GPA} = (4 \times \text{AAの単位数} + 3 \times \text{Aの単位数} + 2 \times \text{Bの単位数} + 1 \times \text{Cの単位数} + 0 \times \text{Dの単位数}) / \text{履修登録単位数 (Fは除く)}$ <p>上記のとおりGPAを算出し、当該数値と学科学年内の相対位置を、個別の成績通知表等にも明記しております。</p>	

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.konan-wu.ac.jp/publication/ (Web ページ内該当項目：学習の成果に関する評価等について > GPA の算定について)
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学科ごとに卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）を、「知識・理解」、「汎用的技能」、「態度・志向性」、「総合的な学習経験と創造的思考力」の4つの学士力の観点から定めています。また、シラバスの「授業のねらい」や「到達目標」を、ディプロマポリシーと関連付けて作成するようマニュアルにも記載する等、適切な実施に努めています。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.konan-wu.ac.jp/publication/ (Web ページ内該当項目：学修の成果に関する評価等について > ディプロマポリシー(学位授与の方針)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	甲南女子大学
設置者名	学校法人 甲南女子学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.konan-wu.ac.jp/about/information/finance.php
収支計算書又は損益計算書	https://www.konan-wu.ac.jp/about/information/finance.php
財産目録	https://www.konan-wu.ac.jp/about/information/finance.php
事業報告書	https://www.konan-wu.ac.jp/about/information/finance.php
監事による監査報告(書)	https://www.konan-wu.ac.jp/about/information/finance.php

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2021年度事業計画 対象年度:2021年度)
公表方法: http://gakuen.konan-wu.ac.jp/data/plan/index.html
中長期計画(名称:第5次中期計画 対象年度:2021~2023年度)
公表方法: http://gakuen.konan-wu.ac.jp/data/plan/index.html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.konan-wu.ac.jp/about/action/report.php

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.konan-wu.ac.jp/about/action/report.php

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 文学部
教育研究上の目的 (公表方法: https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/)
(概要) 文学部の教育は、人間が作り上げ育ててきた文化・言語および文学・芸術に対する深い関心と幅広い教養を身につけること、加えて言語ならびにメディアの運用力を修得し、円滑な人間関係を築くためのコミュニケーション能力と個性の発現である自己表現力を持った人間を育成することを目標とする。過去から現在まで多様に展開されてきた人間の営みに対して、多様な角度からの考察を試み、人間そのものを総合的に理解することで、グローバル化する社会に適合した幅広い教養人の育成を目指す。
[教育目標]
1. 日本および外国の文化・芸術・社会・メディアに関する知識を涵養することができる。
2. 論理的な思考ができ、自分の考えを明快に表現することができる。
3. 制作と実践を通じて多様な表現およびメディアを理解することができる。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/)
(概要) ・日本または外国の文化や、情報メディアに関する知識・教養を身につけ、それを生かしながら社会の幅広い分野で活躍できる。 ・日本語力を磨き、メディアを活用した表現力を習得し、国内外で通用する高いコミュニケーション能力を獲得する。
1. 知識・理解 高い基礎的教養をもち、そのうえに確かな専門知識を身につける。日本または外国の文化・芸術・社会に高い関心と知識をもち、文化の伝統や多様性を理解するとともに、現代社会の多様なメディア表現についても知り、理解できる。
2. 汎用性技能 基礎および専門の学びを通じて、社会にも通用する実践的な知識・技能、情報リテラシーを身につける。日本語力を磨き、外国語を習得し、グローバル社会に対応可能なコミュニケーション能力や自己表現能力を身につける。
3. 態度・志向性 日本や外国の文化に高い関心を寄せ、また習得した知識・技能を卒業後の社会生活に生かすことができる。制作および実践を通じて多様な表現やメディアを理解し、また自ら発想する力を発揮できる。
4. 総合的な学習経験と創造的思考力 文化・言語・メディアについて机上での学びを生かしながら、学内外において体験的に学ぶことによって、総合的で社会生活にもつながる生きた知識を獲得できる。自主的、主体的に学びとり、状況に応じて発案することができる。

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法:https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/)</p> <p>(概要)</p> <p>1. 文化・言語の学習を中心とする伝統ある人文学を学ぶことができ、また現代社会の変化に対応するという点にも留意して体系的なカリキュラム編成や授業科目の配置を行う。</p> <p>2. 各学科において、ポリシーにそったカリキュラムを体系的に編成し、適切な授業科目を配置できるよう、学部の立場からも配慮する。</p> <p>3. 各学科に置かれた多数の科目を学部の教育資源と捉え、学生の科目選択において自由度の高い本学の制度を生かし、学生が自学科の科目のみならず他学科の科目も必要に応じて履修できるよう配慮する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法:https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/)</p> <p>(概要)</p> <p>日本または諸外国の文化、文学・芸術、またメディアについて強い関心を持つ人を広く求めます。また卒業後にも国内外で通用する日本語・外国語の運用能力やコミュニケーション能力、自己表現力を身につけたい人、社会貢献に関心を持つ人を求めます。</p>

<p>学部等名 国際学部</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法:https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/)</p> <p>(概要)</p> <p>グローバル化・ボーダーレス化が進む現代社会において、人、もの、情報は国・地域や言語の境界を越えてますます自由に行き来するようになっている。特に情報通信技術の発展の結果、グローバル社会に必要な能力をもった人材の需要はかつてないほど多くの方面で高まっている。</p> <p>このような社会的背景をふまえ、国際学部では、現代のグローバル社会における社会的・文化的諸課題を理解し、実践的な外国語運用能力と高いコミュニケーション能力によってさまざまな領域で中核的・支援的な役割を果たすことのできる人材を育成することを目指す。</p> <p>[教育目標]</p> <p>1. 外国語、地域文化、地域社会や国際社会に関わる諸課題について高度で専門的な知識を身につける。</p> <p>2. 外国語の実践的な運用能力、外国語および日本語での実践的なコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>3. 多文化環境において積極的かつ柔軟に行動することができる態度と、自律的に課題解決をする態度や能力を身につける。</p> <p>4. 留学、学内外でのプロジェクト、インターンシップ、ボランティア活動をとおして体験的に学ぶことで、理論と実践を結びつけて自らを表現し、課題を解決する力を身につける。</p>

<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/）</p> <p>（概要）</p> <p>1. 知識・理解 英語とアジアの言語、地域文化、地域社会や国際社会に関わる諸課題について高度で専門的な知識を身につけ、理解・分析することができる。</p> <p>2. 汎用性技能 英語とアジアの言語に関して実践的な運用能力を身につけている。また、外国語および日本語でのコミュニケーション能力を身につけ、多文化環境において協働的な活動を行うことができる。</p> <p>3. 態度・志向性 多様な文化的価値観を受容し、多文化環境において積極的かつ柔軟に行動することができる。外国語学習の過程をとおして自律的に課題解決をする態度と能力を身につけている。</p> <p>4. 総合的な学習経験と創造的思考力 留学、学内外でのプロジェクト、インターンシップ、ボランティア活動をとおして体験的に学ぶことで、理論と実践を結びつけて自らを表現し、課題を解決することができる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/）</p> <p>（概要）</p> <p>1. 外国語習得について国際基準に従った目標の明確化をカリキュラムと結びつけ、能力に応じたクラス編成を行う。</p> <p>2. 英語とアジアの言語、地域文化、地域社会や国際社会に関わる諸問題について体系的に学ぶことのできる科目配置を行う。</p> <p>3. 入門期からの演習授業をとおして、情報リテラシー、課題に対する分析力、論理的な表現力、協働的活動能力を身につけられるよう支援する。</p> <p>4. 留学や在外研修の機会を十分に提供し、カリキュラムと結びつけた事前・事後指導をとおして学修の成果が上がるように支援する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/）</p> <p>（概要）</p> <p>本学部では、英語をはじめアジアの言語、文化、社会に広く興味や関心を持つ人、留学を含む海外での滞在経験をとおして自らを高める積極性や自立心を持っている人を求めます。また外国語を習得するための強い意欲を持ち、卒業後に外国語の能力を用いてグローバル社会に貢献することをめざす人を求めます。</p>

学部等名 人間科学部
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/)
<p>(概要)</p> <p>現代社会に生きる人間を理解し、よりよく生きるために、人間とその環境の多様性・複雑性を科学的・総合的に探求し、社会に生きる人間に関わる現実的な諸課題・諸問題に実践的に関わり、解決していく人材を育成する。</p> <p>[教育目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 幅広い教養と専門的知識とともに豊かな人間性を身につけることができる。 人間とその環境に関わる多様な学問分野における情報や概念を活用し、多様な観点から情報をあつめ、論理的に分析する能力を身につけることができる。 断片的な情報を知識として組織化するとともに、知識を把握する方法を理解し、個別的な課題や問題にそれらを応用する能力を身につけることができる。 個別的で多様な人間の生き方を理解し、それらを尊重したコミュニケーションができる能力を身につけることができる。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/)
<p>(概要)</p> <p>人間とその社会および環境を理解するための科学的方法と専門的知識を習得するとともに、他者とのコミュニケーションを豊かにする幅広い視野を身につける。そして、それらの学習をとおして、身近な暮らしや仕事の課題から広く社会や環境の問題に積極的に取り組み、新しい生活や世界を切り開いていく、主体的で意欲的な「生きる力」を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 知識・理解 基礎から応用まで、それぞれの学問分野の基本的な研究法と知識を習得するとともに、その専門的能力を実生活で活かすために必要な幅広い教養を身につける。 汎用性技能 言語(日本語と外国語)、AV(オーディオ・ビジュアル機器)、IT(コンピュータやインターネット etc.)など知的ツールを使いこなし、課題の発見、資料・情報の収集・分析、問題の解決、およびそれらについて適切なプレゼンテーションをおこなう技能を身につける。 態度・志向性 自分自身の生活を自覚的に振り返りつつ、異なる価値観や生活スタイルに寛容であり、世界の不正や不条理への批判的精神も忘れず、より良い自分の人生と世界のあり方を切り開いていく生き方を身につける。 総合的な学習経験と創造的思考力 学習者としての基本的・汎用的な知的スキル、人間とその社会および環境についての専門的な知識と研究法、それに人間としての豊かな教養を身につけ、それらの学習経験の総合の上に、その成果を現実の生活のなかで創造的に活用する思考力と実践力を身につける。

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/)</p> <p>(概要)</p> <p>人間とその社会及び環境を理解するために次のような学習をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報や資料を収集し、それらに適切な分析・解釈・評価をほどこして、レポート・論文・作品などにまとめ、その成果についての効果的なプレゼンテーションと建設的なディスカッションが行える、基本的な知的スキルの習得。 2. 基礎から応用までバランスよく配置され、系統的に展開される学習プログラムに沿って、体系的な学術講義と実験・実習・フィールドワークなどの体験学習との有機的な組み合わせによる、専門的な知識と研究法の習得。 3. 専門的な知識や考え方を、QOL(生活の質)の向上、キャリア形成、ならびに現代社会の諸問題や諸課題の解決に生かすための、その立脚点およびバックグラウンドとなる幅広い教養の習得。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法: https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/)</p> <p>(概要)</p> <p>人間とその社会および環境に強い関心を持ち、それらの多様で複雑なありようについての科学的・総合的な把握に主体的に取り組み、その学習成果を身近な生活から世界的・地球的な規模までの現実的諸課題・諸問題の解決と将来の展望に活かそうとする、熱意ある学生を求めます。</p>

<p>学部等名 看護リハビリテーション学部</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法: https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/)</p> <p>(概要)</p> <p>豊かな人間性を培い、高いヒューマンケアの視点で看護及びリハビリテーション領域の専門職者としての実践力を備え、医療及び保健福祉の分野で看護学科は看護師、保健師、助産師及び養護教諭として、理学療法学科は理学療法士として、地域社会や国際社会において活躍できる人材を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法: https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/)</p> <p>(概要)</p> <p>豊かな人間性を培い、高いヒューマンケアの視点で看護及びリハビリテーション領域の専門職者としての実践力を備え、医療および保健福祉の分野で看護学科は看護師、保健師、助産師及び養護教諭として、理学療法学科は理学療法士として、地域社会や国際社会において活躍するために、各学科が定める履修上の要件を満たした学生に対して「学士」の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知識・理解 幅広い教養、倫理的態度、コミュニケーション力及び豊かな人間性を身につけることができる。 2. 汎用性技能 科学的な専門知識及び技術に基づき判断・実践し、問題を解決することができる。 3. 態度・志向性 医療、保健、福祉、教育等の分野の人々と連携・協同し、自らの役割を果たすことができる。専門職者として国際化・情報化へ対応することができる。

<p>4. 総合的な学習経験と創造的思考力 自学創造の学習態度、生涯学習の姿勢を持ち自己の専門領域を学術的に探求することができる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法:https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/)</p> <p>(概要) 学生の専門的知識への興味や将来の進路への期待に応え、目的意識を明確にし、学習意欲を高めるため、1年次から専門基礎科目や専門科目の講義、演習、実習を開講する。 看護学科、理学療法学科共通の講義を開講し、幅広い知識技術を養うとともに、チーム医療の必要性を理解し、健康の維持増進・予防・治療・回復・社会復帰までを担える保健医療職者としての共通認識を育む。 また、臨地・臨床実習においては、本学が提携する病院施設、老人保健施設、訪問看護ステーションをはじめ、主として兵庫県内の多様な実習施設で少人数制によるきめ細やかで実践的な実習を行う。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法:https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/)</p> <p>(概要) 本学建学の精神を理解し、自立した学習者を志向し、人の痛みがわかり相手を思いやれる人間愛豊かな人、卒業後は専門職者としての活躍と併せ、継続的に自己研鑽でき社会に貢献するという強い意志を持つ人を求める。</p>

<p>学部等名 医療栄養学部</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法:https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/)</p> <p>(概要) 知性と品格を磨き、他者を思いやる豊かな人間性と倫理性を養うとともに栄養学の知識と実践力を修得する「全人栄養教育」を理念に掲げて、医療をはじめとする幅広い栄養学関連分野で管理栄養士として、地域社会において活躍する人材を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法:https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/)</p> <p>(概要) 次の能力を有すると認められた者に、学士の学位(医療栄養学)を授与する。</p> <p>1. 知識・理解 食環境・食文化を含めた食に関わる幅広い知識と技能を修得することにより、栄養学の概念を論理的かつ科学的に理解している。 地域社会における、健康の維持・増進、疾病の予防・療養、高齢者の低栄養・介護予防に必要な栄養学及び関連学問分野の知識と技能を修得している。 医療に関わる専門職業人に必要とされる栄養学及び関連専門分野の知識と技能を修得している。</p> <p>2. 汎用性のある技能 栄養と健康に関して、科学的根拠に基づいた論理的な思考ができる。 予防医学・治療医学の観点から、栄養に関わる諸問題を解決し、地域・医療・福祉における栄養管理・栄養改善を実践できる。 医療栄養学に関する知識と技術を応用発展させ、すぐれたコミュニケーション能力を持つ栄養管理の専門職業人としてチーム医療に貢献できる。</p> <p>3. 態度・志向性 地域・医療・福祉における栄養管理・栄養改善に、社会的な責任のもとに取り組む意欲をも</p>

つ。
職業倫理を基盤として、医療を中心とした栄養学及び関連学問分野を生涯学び続ける強い意志をもつ。

4. 総合的な学修経験と創造的思考力

地域・医療・福祉の分野における多様なニーズに対応できる最新の栄養学知識と応用技能を学び、「全人栄養教育」を実践できる栄養と食生活の専門職業人として、主体的に課題を見出して解決する能力を身につけている。

臨床現場に対応できる最新の医療栄養学の知識と技術を学び、常に自己を研鑽し続ける姿勢と能力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針(公表方法:<https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/>)

(概要)

医療栄養学科では、栄養学を幅広く修得して医療の領域を中心とした幅広い現場で管理栄養士として活躍できる人材の養成を目指す。教育課程編成の方針(カリキュラムポリシー)を以下のとおりとする。

1. 全学共通科目においては、社会人としての知の基盤となる、教養と幅広い知識を身につけることで豊かな人間性を養う。
2. 1年次に導入分野を開講することで、管理栄養士及び医療分野における専門職業人としての将来の進路に関心をもたせる。
3. 1年次から「管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム」の教育内容に沿った専門基礎科目を開講し、栄養学を勉学する意志を高める。
4. 2年次から専門基礎科目に加えて新たに専門科目を開講して、講義と実習や演習を有機的に組み合わせて学修することにより、医療栄養学の高度な専門知識と技能を修得する。
5. 3年次及び4年次においては、臨地実習を病院・老人介護施設・保健所・保健センター、特定給食施設などできめ細かな指導のもとに行うことで医療栄養学の知識に加え技能を修得し、医療施設を中心とした幅広い現場で実践できる能力を養う。
6. 看護リハビリテーション学部との連携科目を開講し、チーム医療の重要性を理解するとともに医療現場における実践的な能力を養う。
7. 臨床現場での経験を有する管理栄養士である実務家教員による実践的な講義と演習により、チーム医療の一員として、医療分野における専門職業人として活動できる能力を養う。
8. 4年次に卒業研究を全学生に課すことにより、医療栄養学における課題の発見・問題解決能力を涵養するとともに自学する能力を養う。

入学者の受入れに関する方針(公表方法:<https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/policy/>)

(概要)

医療栄養学科では、以下のような学生を求めます。

1. 関心・意欲・態度

食と健康に関心があり、医療分野における栄養学を学ぶ強い意志をもち、人間性と生命に対する畏敬の念を有する人

2. 知識・教養

医療栄養学を学ぶにあたり、必要な基礎学力*を修得した人
*高等学校までに履修した主要教科（理科、英語、数学、国語、社会）の基礎的な知識

3. 思考力・判断力・表現力

知識・教養を基盤として、深い思考のもとに適切な判断ができる人

柔軟な思考のもとに自由な発想で問題を解決しようとする人

コミュニケーション能力を磨くことができ、自己表現能力を高めようとする人

4. 協働性・主体性

思いやりの心をもち、多様性を尊重してチームワークのとれる豊かな人間性を持つ人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.konan-wu.ac.jp/publication/>

(Web ページ内該当項目：学部・学科等の組織・名称について > 教育研究の基本組織)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	6人	—					6人
文学部	—	8人	8人	8人	0人	0人	24人
国際学部	—	8人	9人	4人	2人	0人	23人
人間科学部	—	32人	12人	6人	3人	0人	53人
看護リハビリテーション学部	—	17人	13人	13人	14人	2人	59人
医療栄養学部	—	6人	5人	3人	3人	2人	19人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		272人					272人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.konan-wu.ac.jp/dept_grad/teachers/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
授業改善を図るため、授業公開を実施し、さらに、年度末には「教員自己評価票」の提出を求め、学長や学部長が内容を確認しています。また、教員の資質向上を図るため、教育のみならず研究に関わる講演会を開催しています。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
文学部	150人	175人	116.7%	980人	1,170人	119.4%	若干名	2人
国際学部	190人	211人	111.1%	380人	412人	108.4%	人	人
人間科学部	400人	426人	106.5%	1,600人	1,828人	114.3%	若干名	1人
看護リハビリテーション学部	160人	156人	97.5%	640人	673人	105.2%	人	人
医療栄養学部	80人	63人	78.8%	320人	294人	91.9%	人	人
合計	980人	1031人	105.2%	3,920人	4,377人	111.1%	人	3人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
文学部	410人 (100%)	7人 (1.7%)	357人 (87.1%)	46人 (11.2%)
人間科学部	436人 (100%)	15人 (3.4%)	398人 (91.3%)	23人 (3.3%)
看護リハビリテーション学部	139人 (100%)	1人 (0.7%)	128人 (92.1%)	10人 (7.2%)
合計	985人 (100%)	23人 (2.3%)	883人 (89.7%)	79人 (8.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
進学先：大学院、学部専攻科など 就職先：一般企業、医療機関、学校、幼稚園、保育園など				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
文学部	422人 (100%)	388人 (91.9%)	21人 (5.0%)	13人 (3.1%)	人 (%)
国際学部	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
人間科学部	459人 (100%)	426人 (92.8%)	14人 (3.1%)	19人 (4.1%)	人 (%)
看護リハビリテーション学部	159人 (100%)	127人 (79.9%)	17人 (10.7%)	15人 (9.4%)	人 (%)
医療栄養学部	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	1,040人 (100%)	941人 (90.5%)	52人 (5.0%)	47人 (4.5%)	人 (%)
(備考)					
国際学部、医療栄養学部については、完成年度を超過していないため、該当はありません。					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>本学では各授業科目担当者が、12月末から1月末にかけて翌年度のシラバスを作成し、2月上旬頃からホームページで公開しております。</p> <p>シラバスの入力マニュアルを作成し、各教員(専任教員、非常勤講師問わず)に配付しております。マニュアルには、授業内容(概要)、授業計画、到達目標、成績評価、オフィスアワー、準備学習等(予習・復習)について、シラバスに明記する旨と入力手順を記載しております。</p> <p>また、入力したシラバスについては、担当教員ではない第三者の教員が、シラバスの内容をチェックし、適切に記載されているか教員間で相互に確認しております。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<p>シラバスの中に、成績評価について記載しております。授業参加態度、期末試験・期末レポート、小テスト・小レポート等の評価割合を明示し、これらに基づいて学修成果の評価を行い、単位認定しています。</p> <p>また、成績評価の基準については、100点満点で60点以上を合格としています。AA(90点以上)、A(80～89点)、B(70～79点)、C(60～69点)、D(59点以下：不合格)で判定しており(授業を一定回数以上欠席した場合等はF(失格))、全学生に配付している学生要覧等にも記載しております。</p> <p>学科ごとに卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)を、「知識・理解」、「汎用的技能」、「態度・志向性」、「総合的な学習経験と創造的思考力」の4つの学士力の観点から定めています。また、シラバスの「授業のねらい」や「到達目標」を、ディプロマポリシーと関連付けて作成するようマニュアルにも記載する等、適切な実施に努めています。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
文学部	日本語日本文化学科	124単位	有	Semester毎に24単位
	英語文化学科	124単位	有	Semester毎に24単位
	多文化コミュニケーション学科	124単位	有	Semester毎に24単位
	メディア表現学科	124単位	有	Semester毎に24単位
国際学部	国際英語学科	124単位	有	Semester毎に24単位
	多文化コミュニケーション学科	124単位	有	Semester毎に24単位
人間科学部	心理学科	124単位	有	Semester毎に24単位
	総合子ども学科	124単位	有	Semester毎に24単位
	文化社会学科	124単位	有	Semester毎に24単位
	生活環境学科	124単位	有	Semester毎に24単位
看護リハビリテーション学部	看護学科	124単位	有	Semester毎に24単位
	理学療法学科	124単位 (2020年度以降入学) 128単位	有	Semester毎に24単位
医療栄養学部	医療栄養学科	128単位	有	Semester毎に24単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法： https://www.konan-wu.ac.jp/publication/ (Webページ内該当項目：学習の成果に関する評価等について > GPAの算定について)		
学生の学修状況に係る参考情報(任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： https://www.konan-wu.ac.jp/about/information/estate https://www.konan-wu.ac.jp/institution/map/ https://www.konan-wu.ac.jp/access/ https://www.konan-wu.ac.jp/campuslife/activities/club

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
文学部	全学科	760,000 円	250,000 円	450,000 円	教育施設充実費 35 万円 2 年進級時 4 万円増額 休学中の在籍料 10 万円
国際学部	全学科	760,000 円	250,000 円	450,000 円	
人間科学部	その他学科	760,000 円	250,000 円	450,000 円	
	総合子ども学科	760,000 円	250,000 円	450,000 円	教育施設充実費 35 万円 2 年進級時 7 万円増額 休学中の在籍料 10 万円
看護リハビリ テーション学部	看護学科	1,000,000 円	250,000 円	700,000 円	教育施設充実費 60 万円 2 年進級時 12 万円増額 4 年進級時 1 万円減額 休学中の在籍料 10 万円
	理学療法学科	1,000,000 円	250,000 円	780,000 円	教育施設充実費 68 万円 2 年進級時 9 万円増額 4 年進級時 1 万円減額 休学中の在籍料 10 万円
医療栄養学部	医療栄養学科	1,000,000 円	250,000 円	530,000 円	教育施設充実費 43 万円 休学中の在籍料 10 万円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 家計の困窮度が高く、修学が極めて困難な学生に対して奨学援助の目的をもって、その学資を給付する制度を複数設けています(各制度に採用人数・選考基準あり)。視覚・聴覚障害学生に対するピアサポート概念から実施する学生によるノートテイク制度の運用や、発達障害や各種疾病による配慮が必要な学生に対して、学生支援連絡会議で支援内容を決定し、それらを各教員等へ依頼することによる修学機会の確保、学生保証人と学科教員が日頃の学習状況について直接懇談する教育懇談会の実施など、様々な支援を行っています。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 卒業後の進路選択支援として、キャリアセンターを設置している。求人票を公開し、就職に関する様々な相談や、履歴書を初めとする書類の添削、また、模擬面接、就職支援講座なども実施。学生がより良い進路を選べるように支援業務に当たっています。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

こころの支援室では、臨床心理士が学生相談やカウンセリング等を行い、教員からの問い合わせにも対応しています。必要時には休養できるようからだの支援室との連携によって休養し、見守りを行っています。こころの健康に役立つ情報を発信しています。からだの支援室では学生定期健康診断や健康調査票によって学生の健康状態を把握し、疾患の早期発見治療を勧奨しています。看護職や医師による健康相談を行っています。体調不良時には、休養場所の提供や怪我の応急処置を行い、必要に応じて医療機関を案内しています。健康に役立つ情報を発信しています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.konan-wu.ac.jp/contribution/research/>